



発行日

2022.10.1

第173号

## 西讃地域の多様な担い手紹介シリーズ②7

～若手農業者紹介～



三豊市高瀬町

大西 里志さん (45歳)

大西里志さんは、高校卒業後、一度は農外の会社に就職していましたが、地域内に同世代のキャベツ農家が増えてきたことや、実家に農地があったことから農業に興味を持つようになり、農業大学校での研修を経て、平成28年に就農しました。

就農当初は、実家にある中古機械を利用して初期投資を抑えていましたが、機械の能力不足のため思うように作業が進みませんでした。そこで、補助事業や制度資金等を活用して、トラクター、うね立て成形機、野菜移植機、パワーディスク、ラジコン動噴、フレールモア等の省力機械や育苗ハウスを導入して規模拡大し、現在、キャベツ5ha、露地キュウリ6aを栽培しています。

規模拡大にあたっては、実家の農地に隣接する農地を、香川県農地機構を通じて借り入れ団地化することで、効率的な作業を行っています。また、経営の安定のため、キャベツは生食と加工を組み合わせる生産・販売をしています。

「近年、肥料価格等が高騰しており、経営環境が厳しくなることが予想されますが、生産コストの低減を図るとともに、隣接する農地を中心に借り入れして規模拡大を目指します」と今後の抱負を語ってくださいました。



# 高品質な香川県産麦を生産しましょう!!

播種前の排水対策や雑草対策をすることで、安定した初期生育を確保しましょう。安定した初期生育は、増収につながります。

湿害事例



排水が不十分で、ほ場内に滞水している。



出芽数が少なく、不揃いになっている。



初期生育の不良で、穂数が少なくなり、低収となる。

1

## 浅耕処理

浅耕（耕起深3～5cm）で稲わらをすき込み、乾燥しやすいほ場を準備しましょう。

注意

深耕及び細かく碎土すると水を含みやすく、過湿状態になる。

ポイント

稲株をおがす程度に浅耕する。



浅耕（左）  
無処理（右）



事前浅耕  
（左：処理前、右：処理後）

2

## 排水溝設置

ほ場に明きよを設置することで、降雨後の雨水を速やかに排出し、乾田化を促しましょう。

ポイント

畦畔内側（額縁）とほ場内に3～5m間隔で設置し、落水口まで連結する。



排水溝と落水口の連結



額縁明きよの設置

3

## 除草作業

発生する雑草に合わせた体系処理を行いましょう。

発生雑草	体系処理
スズメノテッポウ	播種後土壤処理除草剤 + 中期除草剤（ハーモニー DF）
ヤエムグラ、カラスノエンドウ	播種後土壤処理除草剤 + 中期除草剤
スズメノカタビラ、ネズミムギ、カラスムギ	播種前非選択性茎葉処理剤 + 播種後土壤処理除草剤

※農薬散布の際は、ドリフトに気を付けましょう。

# 土づくりのため、稲わらをすき込みましょう!!

農作物に由来する有機物は、排水性・保水性・保肥力向上に有効です。また、環境負荷や健康被害を避けるため、野焼きはやめましょう。

## すき込み利用のポイント

- ①稲刈り後、なるべく早くすき込みましょう。  
→微生物の活動が活発な10月20日頃（地温が15℃以上）までに行いましょう。
- ②5～10cm程度で浅くすき込みましょう。  
→腐熟促進のために浅耕を心がけましょう。また、すき込み時に石灰窒素（10～15kg/10a）等の腐熟促進資材を活用してください。



## 長期貯蔵「不知火」の高品質安定生産に向けて ～袋掛け前のジベレリン散布～

西讃管内では、「不知火」を2月～3月に収穫した後、販売価格が高くなる5月以降に出荷できるように長期貯蔵を行い、「さぬき讃フルーツ」として有利販売を行っています。

しかし、近年、秋冬季の高温多雨により、「水腐れ症」の発生や腐敗果が増加し、正品率が低下しています。

その対策として、11月中旬にジベレリン散布を行ったところ、正品率は、2月収穫時ではジベレリン処理区と無処理区で差はなかったものの、5月貯蔵後にはジベレリン処理区の方が無処理区より約3割高くなったため、正品率の向上が期待できることがわかりました。

ジベレリン散布が正品率に及ぼす影響 (%)

調査区	2月収穫時	5月貯蔵後
ジベレリン処理区	87.9	85.8
無処理区	83.3	56.5



水腐れ症



長期貯蔵「不知火」

## 地球温暖化に対応した新たな品目 (アボカド) について

地球温暖化が進行する中、高温条件においても栽培可能な新たな品目の導入を検討する産地が増えています。今回は、果樹品目のうち、新しい導入品目として有望と考えられるアボカドについて紹介します。

アボカドは、近年の健康志向や消費者の国産果実に対する関心などにより、年々需要が高まっています。そのような中、西讃管内をはじめ、県内全域で栽培の試みが増えつつあります。

意外にも、アボカドの耐寒性は比較的高く、品種を選べば露地栽培も可能です。ただし、アボカドの導入には、園地の気象条件を考慮することが必要で、園地の条件としては、日当たりと水はけが良好なほ地が適しています。また、品種は開花の仕方によってAタイプ、Bタイプの2つに分類されます。結実安定のためにはタイプの異なる品種を混植する必要があります。品種選択の際には、下の表を参考にしてください。

耐寒性の高い品種の一例

品種	耐寒性	開花型
ベーコン	-4℃	B
フェルテ	-4℃	B
ハス	-2℃	A
ピンカートン	-2℃	A



着果の様子



樹の外観



# 受賞おめでとうございます

## ◆第43回香川県野菜立毛品評会◆

### 農林水産大臣賞

【にんにく】 観音寺市大野原町 大西 規夫

高温、干ばつの気象条件の中、良好な草姿で下葉の黄変がなく、雑草管理も徹底するなど、行き届いた栽培管理で単収も好成績であったことや、品目的に難しい面積拡大にも積極的に取り組んでいることが高く評価されました。



表彰区分	受賞者	
農林水産省中国四国農政局長賞	【たまねぎ】株式会社 土緑家(観音寺市)	
香川県知事賞	【レタス】合田 隆弘(観音寺市)	【いちご】株式会社 讃久農園(観音寺市)
香川県農政水産部長賞	【たまねぎ】石川 博(三豊市)	【レタス】佐伯 英治郎(観音寺市)
香川県農業協同組合中央会代表理事会長賞	【たまねぎ】川上 悟史(観音寺市)	【レタス】高谷 徹(観音寺市)
香川県農業協同組合経営管理委員会会長賞	【ブロッコリー】藤本 博(三豊市) 【レタス】安藤 雅彦(観音寺市)	【たまねぎ】苅藪 健司(観音寺市)
香川県農業協同組合代表理事理事長賞	【にんにく】谷川 孝志(三豊市) 【レタス】土田 進(観音寺市)	【たまねぎ】白川 正久(観音寺市)
香川県青果物協会理事長賞	【たまねぎ】高橋 健太(観音寺市)	
香川県野菜花き生産者研究会会長賞	【にんにく】豊谷 慶二(観音寺市) 【たまねぎ】今井 弘(観音寺市) 【レタス】中村 努(観音寺市)	【ブロッコリー】松川 邦和(観音寺市) 【たまねぎ】木村 惣(観音寺市)

## ◆第11回香川県園芸振興貢献表彰◆

表彰区分	受賞者	
香川県農業協同組合代表理事理事長賞	【いちご】大西 勝(三豊市)	【たまねぎ】白川 正久(観音寺市)

## ◆第2回香川県園芸新規就農表彰◆

表彰区分	受賞者	
香川県農業協同組合代表理事理事長賞	登 博基(三豊市) / 鈴木 章弘(観音寺市)	

## ◆令和3年播き香川県高品質麦生産コンクール表彰◆

表彰区分	受賞者	
【個人の部】優秀賞	関 遂男(三豊市)	
【生産団体の部】特別賞	農事組合法人 立石(観音寺市)	

敬称は省略させていただいております。

## 『出前授業』『収穫体験』に取り組んでいます

普及センターでは、農業の理解促進や地産地消の推進を図るため、市やJAと連携して小中学校での出前授業や収穫体験などの食育活動に取り組んでおり、令和3年度は11校で延べ21回実施しました。

本年7月5日には、新たに三豊市立豊中中学校から「技術・家庭科の授業で取り組んでいる野菜栽培を生徒に教えてほしい」との要請を受け、生徒が種子から栽培している「ナス、ミニトマト、キュウリ、スイカ、枝豆」について、各品目の特性や管内での生産・販売の状況などの説明と当面の管理について実習指導を行いました。

実習では、「どの枝を整理すればよいのですか」、「摘芽時期は早めがよかったのですか」、「益虫はどのような虫ですか」との質問や、「(今回の実習で) 見ちがえるように整枝されたトマトを続けて管理し、満足する収穫としたい」との意欲的なコメントが出されるなど、生徒たちは栽培技術の習得に真剣に取り組んでいました。

